第 12 講 【近世編】主権国家の形成
PART5 ドイツとロシアの発展

Chapter 1　プロイセンとオーストリア

目標　プロイセンのフリードリヒ２世がどのような改革を行ったのかをおさえよう。
オーストリアの中央集権化が難しかった理由を理解しよう。

1　プロイセン王国の成立

1525 年　ドイツ騎士団領をもとに**プロイセン公国**が成立

1618 年　〔　　　　　　　　　　　　〕の**ブランデンブルク選帝侯国**がプロイセン公国を併合，〔　　　　　　　　　　　　〕が成立

1701 年　スペイン継承戦争で神聖ローマ皇帝を支援。王号を許され，**プロイセン王国**となる

2　プロイセンの発展

①**フリードリヒ = ヴィルヘルム１世**の治世

A　徴兵制を敷いて軍事力を強化し，「兵隊王」と呼ばれる

B　農場領主制の担い手だった領主貴族〔　　　　　　〕を官僚や将校とする

②〔　　　　　　　　　　　　〕（大王）の近代化

A　**啓蒙思想**の影響を受けて農業・商工業の保護・育成，教育の奨励などの改革に努める
※啓蒙思想家**ヴォルテール**を宮殿に招き，「**君主は国家第一の下僕である**」と自称。
→啓蒙専制君主（上からの近代化を目指した君主）の典型とされる

B　ポツダムにロココ様式の宮殿〔　　　　　　　　　　　　〕を建設

③フリードリヒ２世の領土拡大

1740 年　**オーストリア継承戦争**がおこる
※**マリア = テレジア**のハプスブルク家領継承に反対する諸国に，フランスとともに同調。戦争に介入して鉱工業地帯の〔　　　　　　　　　　　　〕を占領。

1748 年　アーヘン条約で**シュレジエン**を獲得

1756年　**七年戦争**がおこる
※イギリスと同盟してオーストリアと戦い，シュレジエンを確保。強国となる。
1772年　〔　　　　　　　　　　〕に参加
※プロイセン，オーストリア，ロシアの３国がポーランドに侵入，国土を奪う。
※ 1795年までに３国によって領土全てが分割，ポーランド王国が消滅。

3　ハプスブルク家のオーストリア

①三十年戦争後のオーストリア
1648年　ウェストファリア条約で神聖ローマ帝国が形骸化
※ハプスブルク家のオーストリアが神聖ローマ帝国の称号を継承。
1683年　**第二次ウィーン包囲**でオスマン帝国を撃退
1699年　〔　　　　　　　　　　〕を締結し，ハンガリーを奪還
→領内にチェコ（チェック）人，マジャール人など異民族が増える
②〔　　　　　　　　　　〕の治世
1740年　オーストリア大公となり，**ハプスブルク家領**を継承
→諸国が抗議し，〔　　　　　　　　　　〕がおこる
1748年　アーヘン条約でハプスブルク家領継承を承認されるが，**シュレジエン**を失う
→国内改革の必要性を痛感。中央集権化に努め，行政・軍制改革を実施
1756年　フランスと同盟し，シュレジエン奪回を目指して〔　　　　　　　　　　〕をおこす
※イタリア戦争以来，敵対関係にあったハプスブルク家とフランス王家との同盟関係は，「**外交革命**」と呼ばれる。
1765年　〔　　　　　　　　　　〕がオーストリア大公となり，母マリア＝テレジアと共同統治
※**啓蒙専制君主**として宗教寛容政策，農奴解放などの改革を進める。
→中央集権化が貴族や領内の異民族の反発を招き，改革のほとんどを撤回

まとめ
フリードリヒ２世は啓蒙専制君主として，行政機構の改革など上からの近代化を進めた。
オーストリアは領内にチェコ人やマジャール人など異民族が居住しており，急激な中央集権化は反発を招いた。

Chapter 2　ロマノフ朝ロシアの台頭

目標
モスクワ大公国のイヴァン4世がどのように領土拡大を進めたのかを知ろう。
ロマノフ朝ピョートル1世の外政はロシアに何をもたらしたのかを理解しよう。

1　モスクワ大公国の拡大

①**イヴァン3世**の治世

15世紀後半　ビザンツ帝国最後の皇帝の姪との結婚により，ローマ皇帝の後継者を自任。

〔　　　　　　　　〕（皇帝）の称号を用いる

1480年　モンゴルの支配から独立し，農奴制を強化

②〔　　　　　　　　　　〕（雷帝）の治世

A　ツァーリの称号を正式に使用，大貴族を抑えて中央集権化を進める

B　農奴制を強化

C　カザン＝ハン国を征服し，ヴォルガ川流域をおさえる

D　コサックの隊長〔　　　　　　　　　　〕の協力を得てシベリアに領土を拡大

2　ロマノフ朝の成立と発展

1613年に**ミハイル＝ロマノフ**が即位し，〔　　　　　　　　　〕を開く。

→1670年（～71年）にコサックと農奴の反乱である**ステンカ＝ラージン**の反乱が発生

①〔　　　　　　　　　　　　〕（大帝）の治世

西欧を視察し，国内の近代化を進める

1689年　**清**と〔　　　　　　　　　　　　　　〕を結び，国境を画定

※アルグン川とスタノヴォイ山脈を国境とする。

1696年　黒海北東部の**アゾフ海**に進出

1700年　ポーランド，デンマークと結んで

〔　　　　　　　〕をおこし，スウェーデン

王**カール12世**と対立

※**スウェーデン**を破り，**バルト海**の覇権を奪う。

1712年　バルト海沿岸に

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

ピョートル1世

を建設して遷都

※西ヨーロッパの文明摂取の拠点とする。

1721年　デンマーク人の探検家〔　　　　　　　　　〕をカムチャツカ方面へ派遣

→1728年にベーリング海峡を確認

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

1762年　夫ピョートル3世から帝位を奪い，皇帝となる

1772年　〔　　　　　　　　　　　　　〕を主導

※プロイセン，オーストリアとともにポーランドを分割し，領土を拡大。

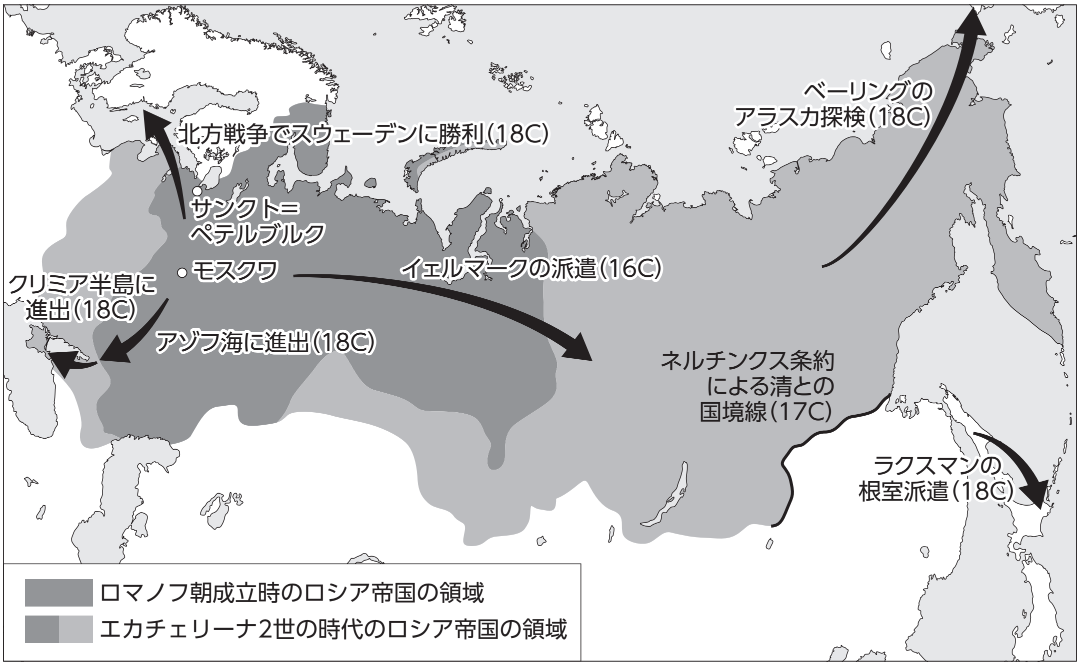
1773年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※コサック出身の**プガチョフ**が指導した農民反乱で，農奴解放を訴えた。

→鎮圧後，農奴制を強化

1783年　クリム＝ハン国を併合し，**クリミア半島**に進出

1792年　日本に使節**ラクスマン**を派遣。通商を求める



ロシアの領域の拡大

まとめ　コサックの首長イェルマークを東方に派遣し，シベリア開拓を進めた。南方では黒海へ進出してアゾフ海，北方戦争ではバルト海の覇権を手に入れた。

第12講　PART5　確認問題

1 プロイセンを支配した国王の一族はどれか。

① ヤゲウォ家　② ザクセン家
③ ハプスブルク家　④ ホーエンツォレルン家

2 「君主は国家第一の下僕である」と称して改革を行ったプロイセン国王はだれか。

① ヨーゼフ２世　② フリードリヒ１世
③ フリードリヒ２世　④ ハインリヒ４世

3 農場領主制の担い手だったプロイセンの領主貴族はどれか。

① コサック　② ユンカー
③ ジェントリ　④ 士大夫

4 鉱工業地帯のシュレジエンを巡って，1756年におこった戦争はどれか。

① 七年戦争　② オーストリア継承戦争
③ スペイン継承戦争　④ ウィリアム王戦争

5 シュレジエン奪回を目指すマリア＝テレジアが，外交革命を行った国はどこか。

① オランダ　② スイス
③ ポーランド　④ フランス

6 スウェーデンと北方戦争を戦い，バルト海の覇権を奪ったロマノフ朝の王はだれか。

① イヴァン３世　② イヴァン４世
③ ピョートル１世　④ エカチェリーナ２世

7 ロシア，プロイセンとともにポーランド分割を行った国はどこか。

① スウェーデン　② フランス
③ オーストリア　④ オスマン帝国

8 1773 年にロシアでおきた農民反乱を率いた人物はだれか。

① プガチョフ　② ラクスマン
③ コシューシコ　④ イェルマーク

第 12 講　PART 5　確認問題 解答

1 解答：④　プロイセン王国は，**ホーエンツォレルン家**のブランデンブルク選帝侯国がプロイセン公国を併合し，成立した。

2 解答：③　**フリードリヒ 2 世**は，啓蒙専制君主の典型とされ，フリードリヒ大王とも呼ばれる。

3 解答：②　フリードリヒ＝ヴィルヘルム 1 世は，**ユンカー**を官僚や将校とした。

4 解答：①　シュレジエンを巡り，イギリスと同盟を結んだプロイセンと，フランスと同盟を結んだオーストリアが戦った戦争を**七年戦争**という。

5 解答：④　ハプスブルク家はイタリア戦争以降，フランスのブルボン家と敵対関係にあったため，この同盟関係は**外交革命**と呼ばれる。

6 解答：③　**ピョートル 1 世**はポーランドやデンマークと結び，北方戦争でスウェーデンに勝利した。

7 解答：③　ロシア，プロイセン，**オーストリア**でポーランドを分割。領地を拡大した。

8 解答：①　エカチェリーナ 2 世統治下のロシアで，コサック出身の**プガチョフ**が指導し，農奴解放を訴えた。